

第4章 基本理念と目指す都市像

食の安全・安心を確保するためには、生産から消費に至るまでの食に係る全ての人々が「安全な食品を享受する」という消費者の基本的権利を尊重し、情報の共有と相互理解のもと、連携・協働して取り組む必要があります。

また、食の安全・安心の確保は、市民の健康で豊かな食生活、札幌の食産業や観光等を支える重要な基盤であるという共通認識を持つことが大切です。

札幌市は、「市民や札幌市を訪れる観光客等の健康保護を最優先とする」等の条例に定めた基本理念を市民や事業者に広く浸透させるとともに、「食品の生産から消費まで、安全の管理が図られている」等の目指す将来の都市像、“安全・安心な食のまち・さっぽろ”の実現に向けた取組を進めます。

さらに、食の安全・安心の確保は、札幌の食ブランドや魅力の一翼を担う資源にもなります。事業者が自主的取組を積極的に進めるとともに、消費者自身も食品の購入時等にこれらの事業者を認知し自ら選択するなど、事業者と消費者間の相互理解を促進し、その価値の向上につなげていくことが重要です。

条例の基本理念

- 市民や札幌市を訪れる観光客等の健康保護を最優先
- 生産から消費までの食の安全・安心の確保
- 市民・事業者・札幌市の3者による連携・協働の推進
- 科学的知見に基づく健康被害の未然防止
- 食産業・観光の振興に寄与

目指す都市像

安全・安心な食のまち・さっぽろ

- 食品の生産から消費まで、安全の管理が図られている
- 個々の事業者が、食の安全・安心の確保を第一に考えて行動している
- 一人一人の市民が、食品の安全性について理解と関心を持っている
- 市民と事業者との間で食に関する信頼関係が築かれている
- 市民や観光客等が、安心して食を楽しめる
- 食の札幌ブランドに「安全・安心」の付加価値がついている